Sumida Triphony Hall Presents

《ロシア・ピアニズムの継承者たち》
Heirs of Russian pianism

現代の継承者たちの新たなる響きに
ロシア・ピアニズムの血脈
その偉大な精神の系譜を聴く

Vol.2
第2回

すさまじい超絶技巧ときわだった感覚が
比類ない美的世界を作り出す。
伝説のピアニスト、ゲンリヒ・ネイガウス
最後の弟子であり、
現代のロシア・ピアニストきっての鬼才。

Alexei Lubimov
[*Piano*]

アレクセイ・リュビモフ
［ピアノ］

《オール・シューベルト・プログラム》
シューベルト：さすらい人幻想曲 ハ長調 D760
即興曲集 D899
（第１曲 ハ短調／第２曲 変ホ長調／第３曲 変ト長調／第４曲 変イ長調）
即興曲集 D935
（第１曲 ヘ短調／第2曲 変イ長調／第3曲 変ロ長調／第4曲 ヘ短調）

《ロシア・ピアニズムの継承者たち》公式twitter！
twitter STHRussianPiano

2011.12.8［木］
19:00開演
（18:30開場）

料金［全席指定］：S¥5,000 A¥4,000（トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可）

本公演チケットご購入者限定、
特別ライヴへご招待！

※詳細は裏面をご覧ください。

ご予約・お問合せ●トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212
トリフォニーホールチケットオンライン http://www.triphony.com

すみだトリフォニーホール

本当の音楽の深さに触れさせる稀有なピアニスト、リュビモフを体験する。

アレクセイ・リュビモフの音楽活動は、旧ソ連時代からずっと、極めて先進的かつラディカルなものであった。

まだ東西が鉄のカーテンで厚く仕切られていた1968年、24歳のリュビモフは、西側でも最先端の実験音楽だったジョン・ケージやテリー・ライリーの作品をいち早く演奏していたという。70年代にはモスクワ・バロック・カルテットで活躍、古楽器への関心を深めていた（その頃のソ連にはまだフォルテピアノの現存例はなかったという）。

90年代に入り、リュビモフはエラート・レーベルの招きでフランスに滞在し、フォルテピアノによるモーツァルトのピアノ・ソナタの録音を開始する一方、モスクワでアルテナチーヴァという現代音楽祭のプロデュースを行う。また、ペルトやウストヴォルスカヤ、シルヴェストロフといったロシア系現代作曲家の演奏や録音においても先覚者であった。

要するに、現代音楽も古楽も含む広大な視野を早くから持ち、時代の先を歩んできた存在なのである。

そんなリュビモフのピアニストとしてのルーツは、リヒテルやギレリスを育てたかの伝説的名教師ゲンリヒ・ネイガウスである。リュビモフがネイガウスから受けた感化には、ロシア的なヴィルトゥオーゾの技巧のみならず、そのピアニズムの魂、すなわち――「時として聴き手の耳には必ずしも心地よく響かないかもしれない精髄」――をも受け継いでいるという。

私たちは音楽に常に「耳に心地よい響き」をついつい求めてしまうが、本当の音楽の深さに触れるためには、「心地よい」だけではなく、ときには既存の美とは隔たった、ある種の「違和感」という体験が不可欠である。

リュビモフは、その領域に達している稀有のピアニストである。

最近発売されたシューベルトの即興曲集のＣＤは、それを端的に示している。そこにあるのは、私たちにとって旧知の、魅惑の花園のようなシューベルトではない。もっと危険な、冥界の向こうから響いてくるような、別の音楽である。

こんな響きはシューベルトではない、という人も多かろうと思う。だが、これこそ本当のシューベルトだ、という人もきっといるはずだ。すべてはライヴで体験していただきたい。

なお、チケット購入者に抽選で限定200名が無料招待される「プレミアム・ライヴ」では、スクリャービンの「黒ミサ」やシルヴェストロフやペルトやマンスリアンなど、通常のコンサートでは決して成立しえない、挑戦的プログラムが組まれている。

そこでは、ホールの舞台上でピアノを取り囲むよう椅子席が特別にセッティングされる。超一流のピアノの響きを、間近に肌で感じられるこうしたチャンスは滅多にあるものではない。ぜひとも、ふるってご応募いただきたいと思う。

林田直樹
（はやしだなおき／音楽ジャーナリスト）

料金 ［全席指定］ S¥5,000／A¥4,000
（トリフォニークラブ会員は各10%引き、同時入会申込可）

前売り：e+（イープラス）…………………… http://eplus.jp
チケットぴあ（Pコード：138-013）…… 0570-02-9999
東京文化会館チケットサービス … 03-5685-0650

ホール公式携帯サイト

ご予約・お問合せ：トリフォニーホールチケットセンター 03-5608-1212
トリフォニーホールチケットオンライン http://www.triphony.com

※都合により公演内容の一部が変更となる場合がございます。※未就学児のご入場はご遠慮下さい。

■主催・企画：すみだトリフォニーホール
■招聘制作：藍インターナショナル
■協力：マーキュリー／ユニバーサル/IMS

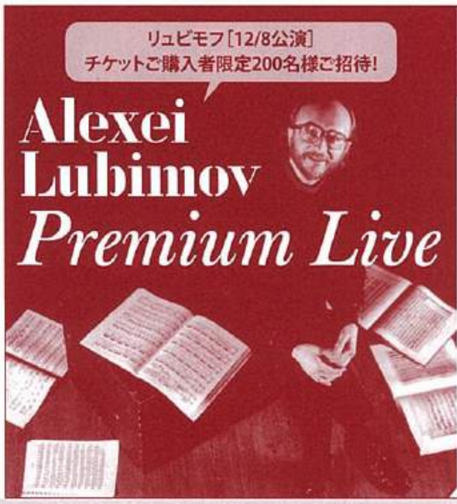
トリフォニーホールの託児サービス ご予約・お問合せ：0120-500-315
(株)小学館集英社プロダクション 総合保育サービスのHAS（ハズ）
●受付時間：月～金（祝日除く）10:00～17:00
●料金：生後6ヶ月～1歳：¥3,000／2歳以上：¥2,000
★ご利用1週間前までにご予約ください。

すみだトリフォニーホール

CD

アレクセイ・リュビモフ［フォルテピアノ］ レコード芸術特選
シューベルト即興曲全集
マーキュリー ZZT-100102（日本語解説付）
¥2,940（2009年7月録音）

アレクセイ・リュビモフ［ピアノ］
悲歌 Der Bote
ユニバーサル インターナショナル4618122
オープン価格（2000年12月録音）



《ロシア・ピアニズムの継承者たち》特別企画

アレクセイ・リュビモフ プレミアム・ライヴ “ロシア・アヴァンギャルド”

リュビモフと同じ舞台上、痛みすら感じるその距離で。

プレミアムでシークレット感満載なライヴ、開催決定！
リュビモフと作品たちのすさまじさを、あなたの全身で感じてください。

2011年12月6日（火）19:30開演
すみだトリフォニーホール
大ホール・ステージ上［特設鑑賞席］

ヴァレンティン・シルヴェストロフ（1937～）：悲歌（1967）
アレクサンドル・スクリャービン（1872～1915）：ピアノ・ソナタ第9番「黒ミサ」（1914）
アルヴォ・ペルト（1935～）：パルティータ第2番（1956）
ガリーナ・ウストヴォルスカヤ（1913～2006）：ピアノ・ソナタ第5番（1986） ほか
※公演時間は約1時間程度を予定

応募資格 ［12/8アレクセイ・リュビモフ］の公演チケットご購入の方

応募方法 住所、氏名、年齢、電話番号、購入公演名と座席番号、このシリーズでお聴きになりたいアーティストや作品などの一言をご記入の上、
メール●oubo@triphony.com または、
往復はがき●〒130-0013東京都墨田区錦糸1-2-3
「ロシア・アヴァンギャルド」係宛 にご応募ください

応募締切：11月15日(火)［必着］
お問合せ：トリフォニーホールチケットセンター03-5608-1212
※ご応募は1名様につき1通のみ有効。※1通につき1名様のご招待となります。

予告 《ロシア・ピアニズムの継承者たち2012》★今秋発売予定 *Heirs of Russian pianism 2012*

第4回
2.11［土・祝］15:00
ラリッサ・デードワ［ピアノ］
《オール・ドビュッシー・プログラム》
ドビュッシー／前奏曲集 第1巻、第2巻

第5回
3.29［木］19:00／**4.3**［火］19:00
セルゲイ・エデルマン［ピアノ］
《ベートーヴェン／ピアノ協奏曲全曲演奏会》

©Lisa Koler

第6回
4.30［月・祝］15:00
リリヤ・ジルベルシュタイン［ピアノ］
ムソルグスキー／展覧会の絵
チャイコフスキー／ピアノ協奏曲第1番